

クラウド：

トランスフォーメーションを加速し、スピーディなビジネス価値創出をリード



予期せぬ変化や望まない変化が次々と起こり、ビジネスの世界も従来の常識が通用しない不確実な時代を迎えています。デジタルトランスフォーメーションにおけるアプリケーション・インフラストラクチャ設計のあり方も同様です。3年後、5年後の成果を待つ時代ではありません。1年後ですら遅いと言われる時代に、もはやクラウドの活用はトレンドではなく、競合他社に先駆けてビジネスを成功へと導く上でマストになりつつあります。クラウドならビジネスニーズの変化に応じてインフラストラクチャを柔軟に変化させ、かつてないスピードで新しいビジネスモデルを創造する可能性を追求することができます。今こそクラウドを活用し、ビジネス全体で俊敏性、革新性、効率性を加速しませんか。

変革の鍵となる5つの優先事項



アバナードが2つの領域から、3ステップでサポート

アバナードは、クラウド活用のメリットを可能な限り引き出す効率的なアプローチを提案します。

主に「**アプリケーション**」と「**インフラストラクチャ**」の2つの領域から

ビジネス成果に貢献する理想的なデータ活用環境の構築を目指し、アセスメントからデリバリー、運用サポートに至るまで、クラウドへの確実な移行をエンドツーエンドで網羅的にサポートします。



アバナードが選ばれる理由：The Power of 3

マイクロソフトとアクセンチュアにより設立されたアバナードは、戦略とテクノロジーを組み合わせ、ITのパワーでより多くの価値を創出するお手伝いをします。アバナードはアクセンチュアと共に、マイクロソフトのGlobal SI Partner of the Yearを他社よりも多く受賞しており、最も多くのマイクロソフト認定資格数を有し、経験豊富なMicrosoft Azure クラウド サービス パートナーとして、お客様がAzureのパワーを効率的に引き出せるよう支援します。

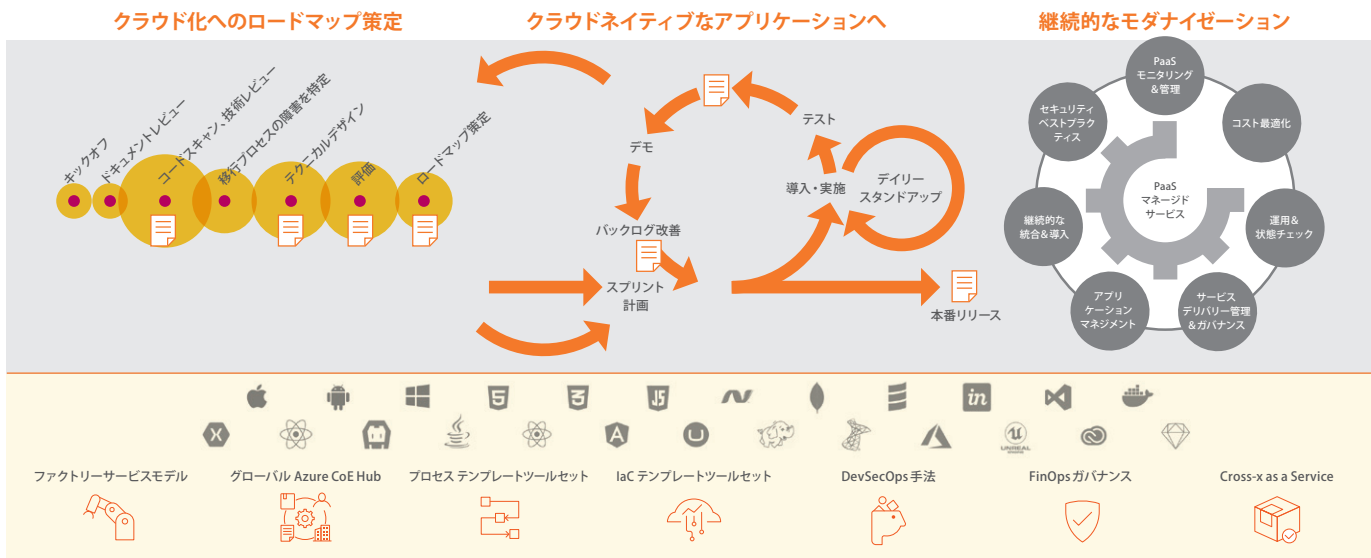


アプリケーション×インフラストラクチャの2つの領域から変革をドライブ

アプリケーション

Modern Application Transformation (MAT)

アバナードのモダナイゼーションサービスは、コストやリスクの削減、俊敏性の向上をもたらすだけではありません。ITシステムの統合、再設計、移行、リプレース、手作業の自動化といった方法でコラボレーションや生産性の強化、収益拡大の実現を図ると共に、ユーザーエクスペリエンスを重視するアプローチによってビジネス上の付加価値を創出します。アバナードが、クラウドジャーニーを加速したいお客様向けにデジタル変革の正しい道筋を一緒に描き、最新のクラウドソリューションの提供を通じて継続的なモダナイゼーションを可能にします。



クラウドネイティブアプリケーション

既存資産を有効に活用しながら、クラウドネイティブアーキテクチャを採用して俊敏性を強化します。

- 最小限のコード変更でオンプレミスのレガシーアプリケーションを迅速に Azure へ移行
- アプリケーションアセスメントにより移行パスを定義
- 価値の高いアプリケーションはバリュードリブンアプローチを活用し、クラウドネイティブアプリケーションとして再定義
- 既存システムとのインテグレーションはAPIにて実現

モダンエンジニアリング

最新のソフトウェア開発手法として、実績のあるアジャイルおよび DevSecOps のアプローチを採用します。

- ソフトウェアソリューションの開発と管理を支えるモダンエンジニアリングプラットフォーム (MEP) を提供
- スクリプトの自動化やプロセスの統合によって DevSecOps やアジャイルな手法を可能に
- PaaS & DevSecOps で市場投入までの時間を短縮

メインフレームモダナイゼーション

既存のプラットフォーム内にロックされていたデータへのアクセス容易にし、データ活用の可能性を拡げます。

- ミッションクリティカルなアプリケーションおよびインフラストラクチャをクラウドネイティブなアプリケーションへの変革を支援
- マイクロサービス、API などの新技術を組み合わせることにより、市場の変化に合わせて必要なデータを柔軟に呼び出し可能に

クラウド活用から価値を生み出すための取り組み

20 以上ものクラウドオフオリング

マイグレーション、インテグレーション、モダナイゼーションを行うための PoC やアセスメント、コンサルティングまで含め、クラウドへの移行を包括的に支援します。

疎結合アーキテクチャによる柔軟なインテグレーション

疎結合が可能なモジュール式アプリケーションアーキテクチャを活用して、さまざまな制約を受けることなく、より柔軟な運用やクイックな対応を実現します。

お客様のニーズに寄り添うデリバリー体制

アバナードが持つ世界中のアセットや人、ソリューション、オフオリングを活用し、お客様の課題や潜在的なシステム化ニーズにワンチームで対応します。

チェンジマネジメント

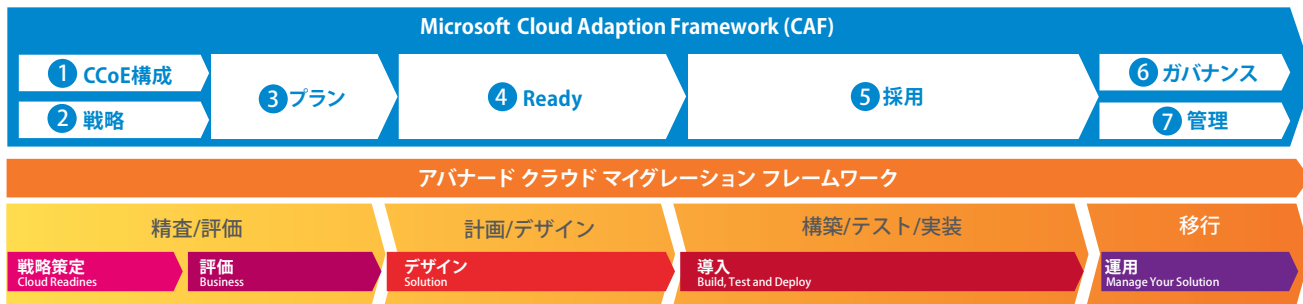
オペレーションそのものあり方や、プロセスの考え方、さらには開発者の意識改革に至るまで、短期間での変革を後押しするための環境を整えます。

導入事例

▶ 大手証券	既存システム	JAVA & .NET SQL & ORACLE, etc	アプリケーションのモダナイズにより分散したセールスチャネルを連携し、顧客の利便性向上、セールス活動の高度化を実現。
▶ グローバル某政府関連機関	既存システム	.NET 1.0 & .NET 4.5 DB2 on mainframe	リアーキテクチャを前提にアバナードのアセットを組み合わせることでシステムを刷新。
▶ 国内製造業	既存システム	COBOL, CICS VSAM/SQL/ORACLE	メインフレーム資産からの脱却に向けてモダナイズサービスを構築中。

Microsoft Azure Platform Services (MAPS)

アバナードのクラウド マイグレーション フレームワークは、グローバルレベルで自社開発した実績あるフレームワークをマイクロソフトのAzure Cloud Adoption Framework (CAF) にアラインさせつつ進化したものであり、お客様に寄り添い、クラウド マイグレーション全体を網羅的にサポートできる点が大きな特徴です。



戦略策定

IT戦略の検討からモダンアプリケーションの導入・移行に関する幅広いITアドバイザリーサービスを提供。また、クラウドCoEが保持すべき機能を定義し、作業範囲や役割を明確にします。

評価

既存のインフラストラクチャ資産を評価し、マイグレーションコストを可視化すると共に、既存のアプリケーション資産の評価を行い、クラウドマイグレーションに向けたロードマップを作成します。

デザイン

Azureの導入準備として、設計対象が網羅的に定義されたアプローチ手法 (Cloud Foundations Workshop) を用いてAzureインフラストラクチャをデザイン。アプリケーションや運用モデルをサポートし、手戻りの無いAzureインフラストラクチャをデザインします。

導入・運用

再度アプリケーションやインフラストラクチャを分析し、最適なアーキテクチャに適合するよう改修とテストを経てアプリケーション移行を実施。移行後はコンサルティングと24時間の管理やサポートを組み合わせて、安定運用を実現します。

アバナードクラウドマイグレーションフレームワークを活用した課題解決のアプローチ (一例)

課題	解決策	効果
 <p>スケジュール 構築期間が短い、セキュリティの設計品質に妥協は許されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • IaCの手法を採用 • 弊社ベストプラクティスの活用 	<p>短期間で高品質・高セキュリティレベルの環境を提供</p>
 <p>アーキテクチャ 既存の基盤を運用し続けているが、今後は変化に柔軟に対応できる仕組みが必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> • コンテナ技術やPaaSを活用したアーキテクチャを採用 • DevSecOpsベースのアジャイルや継続的デリバリープロセスを採用 	<p>改善を促しやすい仕組みを実現し、運用コストを削減しつつビジネスにかかるコストを増大</p>
 <p>セキュリティ クラウドに対応した攻撃に強い強固なセキュリティが必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 企業のセキュリティポリシーに準拠しつつゼロトラストなクラウド設計を実施 • DevSecOpsの標準ルールを作成 	<p>堅牢な基盤とアプリケーション構築により、変化するセキュリティ動向に追従可能な運用プロセスを確立</p>
 <p>運用体制 整理したプロセスを運用する要員や、スキルを持つ人材がない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • アバナードの専門家による24時間365日の基盤・セキュリティ運用サービスを利用 • 内製化に向けた教育プランの立案 	<p>要員調達が必要になると共に、中長期的な人材育成が可能に</p>

導入事例

▶ 製造業	散在していたパブリッククラウド上のシステムをAzureのPaaSベースで構成された社内標準基盤に統合し、ガバナンスを強化。
▶ 小売業	B to C向けの販売促進とコード決済が可能なアプリケーションを稼働させるAzure基盤を構築。開発や運用コストを低減し、ビジネスにかけられるコストを確保。
▶ 飲食業	故障リスクやセキュリティリスクを抱えたオンプレミスのデータセンターから脱却し、クラウド上でのサービス提供を実現。複数のデータセンターにまたがるシステム群をAzureに集約することで運用効率も向上。
▶ 運輸業	各種センターデータを収集するIoT基盤、各物流レイヤを統合するデータ管理基盤をAzureで構築。また、モダンアーキテクチャを採用したマイクロサービス基盤を構築し、品質異常を検知する機能をAzure上に実装。